

精神看護学実習

単
位
数

2

時
間
数

90

2年次 1月～3月・3年次 5月～9月開講

目的

精神障害のある対象を理解し、対象の状態に応じた看護実践を学ぶ。

目標

1. 精神障害のある対象が理解できる。
 - 1) 対象と関わることができる。
 - 2) 対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解できる。

2. 精神障害が日常生活に及ぼす影響を理解し、生活を整える援助ができる。
 - 1) 対象の精神障害と現れている症状を関連づけて理解できる。
 - 2) 対象が受けている治療について、症状と関連づけて理解できる。
 - 3) 対象に現れている症状が日常生活に及ぼす影響がわかる。
 - 4) 対象の生活行動の意味を考え、日常生活を整えることができる。

3. 対象との関わりを通して、患者—看護師関係の理解を深めることができる。
 - 1) 看護者のとる態度が対象に及ぼす影響を理解できる。
 - 2) 対象との関わりを通して自己を振り返り、看護者としての自己理解を深める。

4. 精神医療の現状と看護の役割が理解できる。
 - 1) 対象の安全を守るための病室環境の調整や病棟管理のあり方がわかる。
 - 2) 対象の社会復帰における看護師の役割を考えることができる。

*実習内容・実習方法・実習評価の詳細は実習ハンドブック参照

学習上の留意点

この科目の受講にあたっては、以下の科目履修が要件となる。

基礎看護学実習2、臨床看護総論、精神看護学概論、精神疾患と治療、精神障害のある対象の看護、精神看護技術演習